



天然キレート剤を用いたCO₂の削減

担当教員：（環境科学研究科 エネルギー資源リスク評価学分野）

○渡邊 則昭 教授（TEL 022-795-7384, noriaki.watanabe.e6@tohoku.ac.jp）

王 佳婕 助教（TEL 022-795-4859, wang.jiajie.e4@tohoku.ac.jp）

実施時期： 9月19日（火）～22日（金）

初回の集合場所：環境科学研究科研究棟2F, 203号室（渡邊研究室）

地球規模で効率的かつ環境に配慮した二酸化炭素（CO₂）の削減技術の開発は持続可能な低炭素社会を実現するために重要な課題です。本研修では、植物や微生物の代謝に起因して生じるアミノ酸を天然キレート剤として活用し、鉱物の溶解を促進することで、水の化学的狀態を大気中のCO₂の回収と固定に適した状態に制御する革新的技術に関する研修を実施します。室内での模擬実験により、CO₂の回収量と固定量を測定し、CO₂削減効果の定量的評価と実用的なCO₂削減システムについて議論を行います。